

平成 29 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 ア ス ク ル 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C E O 岩 田 彰 一 郎
(コード番号: 2678 東証一部)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 執 行 役 員 C F O 玉 井 継 尋
TEL 03-4330-5130

平成 30 年 5 月期第 2 四半期 特別損失計上に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月期第 2 四半期（平成 29 年 5 月 21 日～11 月 20 日）において、下記の通り、関係会社株式評価損およびのれんの減損損失、また、投資有価証券評価損を計上することになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 平成 30 年 5 月期第 2 四半期における関係会社株式評価損の計上（個別決算）

当社の連結子会社である株式会社エコ配については、同社単体業績の着実な改善に加え、同社の 100%子会社として株式会社 eco プロパティーズが新たに連結されたことにより、同社グループは、黒字転換を達成する見込みです。

一方、当社の所有する同社の株式簿価と同社の純資産の当社持分割合には現状乖離があり、株式を取得した際の計画と比して取得原価までの回復には時間を要する見込みであることから、当社は、平成 30 年 5 月期第 2 四半期の個別決算において 17 億円の関係会社株式評価損を計上することになりました。なお、関係会社株式評価損については、連結消去されるため連結業績に与える影響はございません。

(2) 平成 30 年 5 月期第 2 四半期におけるのれんの減損損失の計上（連結決算）

上記のとおり、株式会社エコ配について、関係会社株式評価損を計上することにもない、また、来期の業績 V 字回復に向けてのリスク要因一掃を鑑み、当社は、平成 30 年 5 月期第 2 四半期の連結決算において 11 億円ののれんの減損損失を計上することになりました。

(3) 平成 30 年 5 月期第 2 四半期における投資有価証券評価損の計上（連結決算）

当社は「その他有価証券」に区分される保有有価証券について、出資先の財務状況ならびに今後の事業計画を精査いたしました。

結果、一部の出資先において、営業実績は着実に拡大・改善しているものの、当初出資した際の事業計画と比して乖離が出ており、当社は、平成 30 年 5 月期第 2 四半期の連結決算において 15 億円の投資有価証券評価損を計上することになりました。

2. 今後の見通し

上記については、平成 30 年 5 月期の通期連結業績予想数値に織り込み済みであり、業績予想の修正はございません。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (平成 29 年 11 月 9 日公表分) および前期連結実績
(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する 当期純利益
当期連結業績予想 (平成 30 年 5 月期)	365,000	3,800	3,500	4,000
前期通期連結実績 (平成 29 年 5 月期)	335,914	8,865	8,866	1,014